

摂食嚥下のプロセスについて (第1回)

A3病棟看護師 吉田美沙子

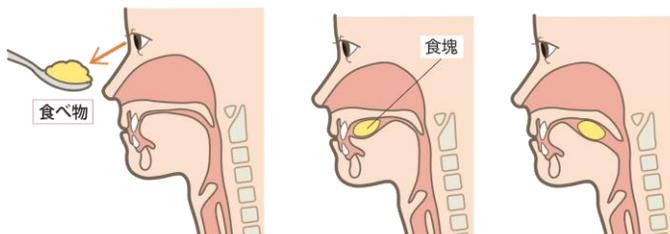
こんにちは、暑い日が続く夏バテ気味になっていませんか。

夏バテや熱中症予防、食中毒予防などさまざま効果を持つと言われている梅干し。一粒でもこの時期に大活躍間違いなしの梅干しの写真を載せてみました。皆さんは梅干しの写真を見た時や話を聞いた時に、口の中で食べなくても唾液が口の中にたまるという経験はありませんか。これは人が食事を摂取する時に、いままで体験した情報【視覚・匂い・味・食べる音】をもとに判断し唾液を分泌させて



いるからです。今回は2回に渡って摂食嚥下のプロセスについてご紹介したいと思います。一般的に摂食嚥下のプロセスは、①先行期（認知期）、②準備期（咀嚼期）、③口腔期、④咽頭期、⑤食道期の5つに分類されています。これを「摂食嚥下の5期モデル」と呼ばれています。

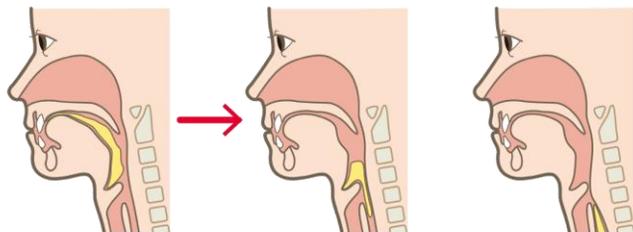
「摂食嚥下の5期モデル」



1. 先行期（認知期）

2. 準備期（咀嚼期）

3. 口腔期



4. 咽頭期

5. 食道期

先行期（認知期）：食べ物を認識して口へ運ぶ

準備期（咀嚼期）：食べ物を口に取り込んで咀嚼する

口腔期：食べ物を口から咽頭（のど）まで送る

咽頭期：食べ物が咽頭（のど）から食道へ送る＝嚥下

食道期：食べ物が食道から胃に運ばれる

摂食嚥下チームメンバー紹介

私はA3病棟の佐藤です。この度摂食嚥下チームに参加させていただくことになりました。A3病棟は40床のうち30床が経管栄養です。食事介助の方は数名しかいません。

チームに参加することで療養の患者さんの中から食事を食べて元気に日常生活が送れるようになっていくことや、施設や在宅に帰れる方を一人でも多く援助し退院に結びつけられるようにしていきたいと考えています。宜しくお願いいたします。

A3病棟 看護師 佐藤正満

皆さんこんにちは！今回摂食嚥下チームに入り分からないことばかりで、みなさんにご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。嚥下機能を維持する事で生活の質を保って元気に退院まで援助していきたいと思ひます。

B4病棟 看護師 岡野早苗